

＜身近なもので科学実験＞「ポリ袋、コロリンで実験！」（記：高松真津子）

1. 実施日時：2026年9月26日（土） 13時～15時30分
2. 実施場所：大阪市教育会館東館 305号室
3. 実験テーマ：＜〇〇コロリン・ポリ袋を使って遊ぼう！＞
もの作りテーマ：＜不思議な手品・いどう君＞
4. 講師及びスタッフ：高松・笠原・池内・大原・松井・佐々木・太田伸江・小野・柳原
5. 参加児童：24名
6. 評価

「楽しさ」

5. ***** 14名
4. **** 4名
3. ** 2名 2. * 1名 1. 0名

「内容」

- 5.***** 14名
4. **** 4名
3. ** 2名 2. 0名 1. * 1名

7. 感想（☺はもの作りの感想です。）「 」は評価番号

・めちゃくちゃたのしかった。（1年）「5・5」

・まさつねつでやけどしたけど、水はいっぱいひっばられていることがわかった。

☺ ちがうところにワープするのがすごかった。（ 年）「5・5」※この児童はトイレに行ったとき、廊下ですべって転び、足の膝を床ですってしまったことから、摩擦熱の経験をしたそうです。

・袋に入った水をえんぴつにさすと、水がこぼれないことがわかった。（2年）「4・4」

☺ すごいしくみになっていました。手品をママに見せます。

・ポリ袋に鉛筆をさすと、中に入っていた水がこぼれないことがわかりました。（1年）「4・4」

☺ すごいしくみになっていました。ママにやってみます。

・鉛筆の先をピンピンにしないといけなかったことがわかった。（5・5）「3年」

☺ マジックができた！！

・水が入っている袋に鉛筆をさしたら、水が出なくてびっくりしました。（2年）「5・5」

☺ 閉じて反対にしてパンってしたら、開けたらびっくりかえってびっくりした。

・よく分かってうれしかった。（1年）「5・5」

☺ 手品を作ってふしぎだった。

・たのしかったです。（1年）「5・5」

☺ すごかったからまたやりたいと思いました。

・楽しかった。またやりたい。（2年）「5・5」

・水が入ったポリエチレン袋に鉛筆をさしても水がもれないことにビックリした。（2年）
「5・5」☺ 作るのは大変だったけど、できたらうれしかった

8. 振り返り。

今回の実験コロリンは、子ども達が近くで見たほうが実験を自分の目で確かめやすいと思
い、コロリン板の周りに椅子をセッティングした。この設定の方がよく見えたようであっ
た。次の「ポリ袋で遊ぼう」は、池内さんを始め、スタッフの皆様が後ろで実験できるよ
うに机を2ブロックに並べ、子ども達が集まれるような座席作りをして頂き、もの作りも

その形式で行うことができた。反省会では、この形式は、子ども達が周りの友達の作っている様子を見ることができ、前を向いてするより、よかったし、スタッフも子ども達の動きをしっかりと見ることができるので良いという意見が寄せられた。



ここにお茶缶があります。1個のシーチキンと一緒に坂を転がすよ。重さはお茶缶の方が重いよ。



お茶缶 vs シーチキン？どちらが坂を転がるのが速いかな？



後ろの人達も一生懸命実験の行方を見ています。



ポリ袋に水がイッパイ！鉛筆させるかなドキドキ！



ドキドキワクワク！！



きれいに鉛筆がささったよ！



うまく鉛筆を刺すよ、皆心配そうに見ています



今からいどう君を作るよ。どんなふうに作るのかな？



たくさんの部品が揃っているか調べています。
 <写真：松井さんが撮影>



のりでくっつけて徐々に組み立てていきます。